

建築関係建設コンサルタント業務への最低制限価格の取扱いについて

大分県が競争入札に付する建築関係建設コンサルタント業務の最低制限価格について、次のとおり取り扱う。

1. 対象業務：予定価格が100万円を超える建築関係建設コンサルタント業務(随意契約は除く)
2. 適用時期：令和7年5月1日以降に公告又は指名通知を行う案件から適用する。
3. 算定方法：(1)の制限割合と(2)のランダム係数を算出し、(3)により最低制限価格を算定する。

(1)制限割合：10分の8.1（一律）

(2)ランダム係数の算出

- 算定時期：ランダム係数は、対象業務の開札後に算出する。
- 算出方法：入札書登録日時のミリ秒（下3桁）の総和を11で除し、余りを求める。
求めた余りに0.001を乗じ、1.000を加えて得た値をランダム係数とする。
- ランダム係数の範囲：1.000 ≤ ランダム係数 ≤ 1.010（小数点以下第3位まで）

(3)最低制限価格の算定

- 算定式：予定価格 × 制限割合 × ランダム係数 = 最低制限価格

●算定イメージ

$$\begin{array}{r} \text{手順①} \quad \underline{\text{予定価格} \times \text{制限割合}} \\ \parallel \\ \text{手順②} \quad \underline{\text{最低制限基準額} \times \frac{100}{110}} \\ \quad \quad \quad \small{\text{※1円未満切り捨て}} \\ \parallel \\ \text{手順③} \quad \underline{\text{最低制限基準額(税抜)} \times \text{ランダム係数}} \\ \quad \quad \quad \small{\text{※1円未満切り上げ}} \\ \parallel \\ \text{手順④} \quad \underline{\text{最低制限価格(税抜)} \times \frac{110}{100}} = \text{最低制限価格} \\ \quad \quad \quad \small{\text{※1円未満切り捨て}} \end{array}$$

- 算定手順 ※（）内は1円未満の端数がある場合の処理
手順①：予定価格に制限割合を乗じて得た額を**最低制限基準額**とする。（切り捨て）
手順②：最低制限基準額に110分の100を乗じて得た額を**最低制限基準額（税抜）**とする。
（切り上げ）
手順③：最低制限基準額（税抜）にランダム係数を乗じて得た額を**最低制限価格（税抜）**とする。
（切り捨て）
手順④：最低制限価格（税抜）に100分の110を乗じて得た額を**最低制限価格**とする。（切り捨て）

最低制限価格の算出式の見直し（建築設計）

現在の制度

※令和2年4月1日以降に公告又は指名通知を行う案件から適用

●制限割合の算定式

$$\frac{(\text{直接人件費} + \text{特別経費} + \text{技術料等経費} \times 60\% + \text{諸経費} \times 60\%) \times 1.1}{\text{設計額}}$$

(注1)「直接人件費の額」、「特別経費の額」、「技術料等経費×60%の額」、「諸経費×60%の額」のそれぞれの額に1円未満の端数がある場合は、これを切り捨てる。
上記の合算額に100分の110を乗じて得た額を設計額で除して得た割合。
(小数第3位を四捨五入し、第2位までとする。)

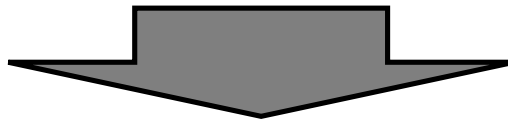
●制限割合の適用範囲

$$6/10 \leq \text{制限割合} \leq 8/10$$

(注2)制限割合の計算結果が、適用範囲の下限值(6/10)を下回る場合は6/10とし、上限値(8/10)を上回る場合は8/10とする。

●最低制限価格の算定式

$$\text{予定価格} \times \text{制限割合}$$



見直し

●制限割合

$$10\text{分の}8.1 \text{ (一律)}$$

●ランダム係数の範囲

$$1.000 \leq \text{ランダム係数} \leq 1.010$$

(注3)ランダム係数は、対象業務の開札後に算出される11通りの数値。

●最低制限価格の算定式

$$\text{予定価格} \times \text{制限割合} \times \text{ランダム係数}$$

最低制限価格の算定例（建築設計）

【予定価格（税込）5,500,000円の場合】

【入札公告】

最低制限基準額（税抜）を算出
 （予定価格 × 81% × $\frac{100}{110}$ ）

最低制限基準額（税抜）

$$5,500,000円 \times 81\% \times \frac{100}{110} = 4,050,000円$$

【開札後】

最低制限価格（税抜）を算出
 （最低制限基準額（税抜） × ランダム係数）

最低制限価格（税抜）

$$4,050,000円 \times 1.003 = 4,062,150円$$

予定価格（税抜）		5,000,000円		開札日時：R7.5.15 10時00分～	
入札参加者	入札価格（円：税抜）	状況	紙入札	入札書登録日時	ミリ秒
A者	4,050,000			R7.5.13 10時01分05秒	345
B者	4,100,000			R7.5.13 11時02分10秒	400
C者	4,450,000			R7.5.13 12時03分15秒	550
D者		辞退		R7.5.12 13時04分20秒	249
E者		無効		R7.5.14 14時05分25秒	113
F者	4,900,000		紙入札	R7.5.14 15時06分30秒	524

注：紙入札で参加の場合等の入札書登録日時は、発注者が登録した日時になる。

●入札参加者の入札書登録日時のミリ秒（下3桁）をもとにランダム係数を算出。「1.000～1.010」の範囲で0.001刻みの11通り。

①入札書登録日時のミリ秒（下3桁）の総和を算出する。

$$\text{ミリ秒の計} : 345 + 400 + 550 + 249 + 113 + 524 = 2,181$$

②総和を11で除し、余りを算出する。

$$2,181 \div 11 = 198 \text{ 余り } 3 \quad \{ 2,181 - (198 \times 11) \} \quad \text{余り3となる}$$

余り	0	1	2	3	4	5	6
ランダム係数	1.000	1.001	1.002	1.003	1.004	1.005	1.006
余り	7	8	9	10			
ランダム係数	1.007	1.008	1.009	1.010			

【入札結果】

（税抜）

A者	4,050,000	不落札	最低制限価格未満
判定基準	4,062,150		最低制限価格
B者	4,100,000	落札	最低制限価格以上